

ヤマザクラ

2015 年（平成 27 年）4 月 20 日（月）発行

ろうきん森の学校（福島地区）10 年間の事業報告会



開会の挨拶 松崎理事長

3 月 13 日 14 時よりいわき市労働福祉会館において多くの関係者に集まっていただき 10 年間の事業報告会を開催しました。

まず、理事長の開会の挨拶の後に、この報告会のために、東京から来ていただいた労働金庫連合会の糸谷部長と東北労働金庫鈴木平支店長よりご挨拶をいただきました。

その後 2 部構成で進めることとし、第一部においては、2 月 12 日東京開催のろうきん森の学校 10 周年記念シンポジウムの概要について報告した後に福島地区 10 年間の活動実績と福島地区 11 年以降の活動方針の説明を行いました。

<11 年目以降の活動方針>

ろうきん森の学校では

- ・森を育む（植樹、間伐、下刈り等の森林整備活動）
- ・人を育む（森づくりや環境教育リーダーの育成）
- ・森で遊ぶ（里山を活用した自然体験、環境教育プログラムの開発と実施）

の 3 つの活動を柱として事業を展開し「森づくり」から始まる「人づくり・地域づくり」につなげる環境教育事業への発展させていくことを基本としております。

第 1 期では、会の基盤整備の確立に重点をおいた取組みが中心となりましたが、今年から始まる第 2 期では、ろうきん森の学校の基本理念の実現について多くの人達に実感してもらえるように取り組んでいくことにします。



報告会 会場風景



挨拶、労働金庫連合会部長糸谷様

＊具体的な取り組み内容

(1) 2015～2017 年度

- 上記ろうきん森の学校の基本理念の実現にむけた具体策のとりまとめ
 - 森の学校への参加希望者がいつ来ても受け入れることが出来るような体制づくり
 - いわき市内労金関係者の多くが参加できるような仕組み作り
 - いわき市内の森林ボランティア団体や環境団体との協働事業の内容の充実強化
- 現在本会の団体会員として加入し協働で取り組んでいるものについてはより質の高いものにしていく

NPO 法人 いわき竹プロジェクト	プロ野球の森整備
いわき市青年林業会議所	海岸林整備
NPO 法人 トチギ環境未来基地	} 海岸林整備、避難者支援
フクシマ環境未来基地	
岩出の郷里山クラブ	いわき金成公園岩出の郷エリアの整備と 各種里山体験活動
NPO 法人 いわき環境研究室	川と海の観察会、環境教育プログラム作成
生協パルスシステム福島	食育、木育等
NPO 法人 ザ・ピープル (4月以降)	グリーンツーリズム

(2) 2018 年以降

2017 年度までの取組み状況を踏まえてとりまとめていくこととします。

第二部では、当日出席いただいた 31 名の方々の自己紹介と意見交換会を行いました。



意見交換会をはじめるとにあたりまず、長い間森の学校の活動にかかわってこられた森前平支店長と大越前いわき連合事務局長からいまままで森の学校に参加したなかでの感じたことを中心に報告して頂きました。

次に、浅川いわき連合事務局長から森の学校の今後に期待することについて話をいただきました。

その後、4つのグループに別れて意見交換会を行い最後に、グループ別に概要の報告がなされました。(松崎)

4 グループに別れ意見交換会

目次 (主な内容)	P
ろうきん森の学校(福島地区) 一〇年間の事業報告会	1
森林整備班の活動 金成公園岩出の郷森林整備	3
木工クラブト班の活動	4
農作業 2015 年春の活動報告	5
プログラム勉強会グループ活動 いわき市立小学校学習支援活動	6
自然観察指導員研修会開催	8
ろうきん森の学校 開催日	9
平成 27 年 2 月 15 日	
平成 27 年 3 月 15 日	
平成 27 年 4 月 19 日	
平成二七年度自然観察会等の計画 自然観察会 木工クラブト	11.
林業活性化講演会	12.
松本學さんカメラで最優秀賞受賞 お知らせ(第十一回通常総会日程)	12.

森林整備班の活動 桑原敏和

森林整備班の活動一覧表 (H27.01.21~04.18)

月//日	曜	実施事項	参加人数
1/21	水	観察1コース内笹刈(アズマネザサ)	5
1/28	水	ビニールハウス補修(金具取付)	3
2/4	水	ビニールハウス補修(ビニール貼り) 桧原木運搬(木エクラフト用材)	5
2/7	土	ビニールハウス補修、桧原木皮むき	5
2/11	水	木エクラフト材(山桜)採取	5
2/21	土	観察フィールド管理道路の笹刈	4
2/25	水	炭焼材・ストーブ材採取樹木の玉切	4
3/4	水	炭焼材・ストーブ材採取樹木の玉切	5
3/6	金	栗林跡地植栽地の下刈	4
3/11	水	キノコ植菌用ほだ木の採集	6
3/18	水	炭焼材・ストーブ材採取樹木の玉切	4
3/25	水	炭焼材・ストーブ材採取樹木の玉切	
4/1	水	炭焼材・ストーブ材の搬出	5
4/4	土	ストーブ材の薪割	4
4/10	金	21 森孟宗竹チップ処理作業	3
4/13	月	21 森孟宗竹チップ処理作業	3
4/14	火	21 森孟宗竹チップ処理作業	3
4/15	水	薪ストーブ燃料材玉切他	2
4/18	土	薪割り作業	4
活動日		森林整備班活動延人数	74

○今回の森林整備班の主な活動は、湯ノ岳山荘観察1コースフィールド内の整備を進めました。

先ずアズマネザサの刈払いを行いました。そして、フィールド内で伐倒された大径木(コナラ、クヌギ)の玉切・搬出を実施しました。だが、この作業はこれからが本番です、そしてこの作業は多くの労力を必要とします。会員の皆様のご協力をお願いします。

搬出された材は炭焼き材やストーブの燃料に加工(薪割)する予定です。



アズマネザサの刈払い



コナラの玉切作業



21 森孟宗竹チップ処理作業

金成公園岩出の郷森林整備

主催 金成公園里山づくり協議会

(1)日時 平成27年02月22日(日) 曇
90:00~12:00

(2)場所 岩出の郷 カタクリ自生地の広葉樹

(3)内容 ・雑木林の抜き切り(株立整理)・笹刈

(4)参加者 30名

(5)実施内容

○昼食時、熱いキノコ汁が振舞われました。

○森林整備について

里山整備とカタクリを守り育てることで、これまで機会ある毎森林整備を進めてまいりました、その結果林床迄太陽光が差し込むようになりカタクリもだいぶ花が多くなり毎年開花時が楽しみとなりました。

しかし、林床の草木も元気になり特にミヤコザサが繁茂してきました。

今後の整備は、抜き切り進めると同時に林床の笹刈にも力を入れて実施する必要があると思われまます。(次ページに森林整備の写真あり)



雑木林の抜き切り作業、写真左林床のミヤコザサ



今年のカタクリの花 撮影 2015 (H27) 03.29

木工クラフト班の活動 桑原敏和

木工クラフト班活動一覧表 (1月~4月)

I グループ (定例日の活動)

No	月/日	曜	木工クラフト 実施事項	参加人数
1	1/20	火	踏み台用材の自動鉋掛 (木工班新年会開催)	11
2	2/3	火	木工 踏み台作り	10
3	2/17	火	木工 踏み台作りと塗装	11
4	3/3	火	男性、テッシュボックス 女性、テッシュボックス 郵便受けボックス、本棚	11 講師 3
5	3/17	火	男性、テッシュボックス 女性、テッシュボックス 郵便受けボックス、本棚	10 講師 3
6	4/7	火	男性、杉皮むき他 女性、テッシュボックス 郵便受けボックス、本棚	13
活動 6 日			参加延人数	66 講師 6

○木工クラフト班のメンバーについてお知らせ致します。

I グループでは、女性：6名、男性：6名、指導員：3名で活動しております。

今回から木工に必要な技術技能に優れた方 3名を指導員として指導にあたることにしました。

また、メンバー内で指導員に次ぐ技術技能に優れた方を**Aクラス6名**、その他のメンバーを**普通クラス6名**として木工クラフト班の技術技能の向上に努めることにしました。



木工クラフト班のスナッフ

II グループ (第3日曜ろうきん森の学校後に実施)

No	月/日	曜	木工クラフト 実施事項	参加人数
1	1/18	日	家庭用 桧コースター作り	3
2	2/15	日	山桜キーホルダー	3
3	3/15	日	コースター作り他	2
4	4/19	日	桧の寿司台、 木の枝クラフト、	3人 3人 6
活動 4 日			参加延人数 (人)	14



(自慢の作品) 踏み台の活用のひとつとして

農作業 2015 年春の活動報告

農作業班 太田

1. 畑の寒起こしと籾殻投入作業

昨年と同様に、体の運動を兼ねて畑の荒起こしを行いました。

スコップで土を天地返しして、籾殻を土に混ぜます。

作業日：1/5、1/10、1/19、1/26、2/9、2/14



畑の寒起こ、土の天地返しと籾殻を混ぜる

2. 落ち葉かきと温床作り

例年の如く、湯ノ岳山荘奥の観察道で落ち葉かきを行い、軽トラ2台分の落ち葉を

畑に運搬しました。（作業日：1/24、2/2）

そして、2/14にこの落ち葉を使用して踏み込み温床作りをしました。



サツマ苗床（温床）作り



2月22日種芋を伏せる、3月30日さつま芋のツルが出る

2. イノシシ避け、トタン囲いの畑を新たに設置

昨年、じゃが芋畑がイノシシに荒らされたの



イノシシ防御柵を新たに設置した畑

3. 植え付け作業等

2/23にタマネギ苗の定植、3/14に長ネギの種蒔きを行いました。

3/23、じゃが芋の種イモを植え付けの作業を行いました。



タマネギ苗の植え付け作業



じゃが芋の植え付け作業

4. その他

1) ハウス内に埋めて保存していた里芋を掘り起こして種芋にする。9割は使用可能。

2) 里芋の植え付け、長ネギや夏大根の種蒔きなどの作業をしました。

3) 畑の溝切り（排水用）、農道の補修などを行いました。

プログラム勉強会グループ活動

佐藤 烈

庭の梅の花が咲き残っているうちに団地の桜が開花、数日で満開になり、また春が来て齡を一つ重ねたかと複雑な気持ちになります。

今回は、報告の最後にも書きましたが、ESDについて少しだけ書きます。

ESDとは「持続可能な開発のための教育」と訳されますが、これまでの知識を教える、受けて側からみると教養として覚えればよいというような従来の環境教育、学習とは異なり、学ぶ側が主体的に感じ、そして今後起こるであろう問題に対し考え、行動できる能力を育む、言い換えれば問題解決型の教育、学習であるといえます。

最近発行された「持続可能な社会づくりと環境教育」（全国小中学校環境教育研究会編）を読むとおおよそそのようなことのようにです。

この本の後半は全国の小学校で取り組まれているESDに基づく環境教育の実践例が16例紹介されています。

これらの実践例を読むと野外活動に関わる部分では例外なく学外の協力者・支援者がいることに気が付きます。つまり、ESD環境教育は学校内の教員だけでは、難しいことがわかります。

残念ながら、本書にいわき市の実践例は、掲載されていませんが、これからも私達は学校における学習支援に関わり、子供の役に立てればと考えています。

そのためにもプログラム班に協力していただける方を増やしていきたいと考えています。ご協力いただける方は、ご連絡ください。

よろしくお祈りします。

1 いわき市立小学校学習支援活動

(1/1~3/31)

月/日	小学校名	学年	学習	参加者	支援者
1/27	上遠野	3	総合学習	33	8
1/29	平6	3	総合学習	57	9
2/10	中央台北	4	総合学習	79	8
2/17	錦東	3	総合学習	20	5
2/18	上遠野	4	総合学習	33	1
2/20	平6	3	総合学習	58	9
3/3	中央台北	4	総合学習	78	3
3/4	錦東	3	総合学習	21	6
活動：4校8回				379	49

この四半期には延8回の総合学習支援を行いました。

上の4つは年間計画の第五回目で主に冬から春の準備をしている様子を観察するというテーマで、冬芽や葉柄痕の面白い形などを見てみました。更に学校によっては土壌の役割を知る実験も追加しました。



上遠野小学校の支援活動座学スナップ



上遠野小学校の土壌観察

5つ目の上遠野小の4年生については学校の追加要望を受け土壌の浄化作用を学ぶ実験を行い、6つ目は同じく学校の追加の要望に応えクラフトを行いました。



平第6小学校、自慢の作品（リユールシルロフォン）



平第6小学校木工クラフト作品の一部

下の二つはこれまで1年間の総合学習の成果をまとめた発表会です。5回にわたる支援により子供たちが学んだものがどうであったか、私達支援に関わった者としても気になるところです。



錦東小学校の発表会会場



錦東小学校の発表会の発表者

その発表を聴いていると、私たちの行った支援内容を教師の方々がよく活用され、子供たちもしっかりとそれにこたえていたように感じられました。私達の活動が彼らの成長の一助になれば幸いです。今後の成長が楽しみです。

2 その他の活動 (1~3月)

(1) いわき明星大学の学校林の管理及び整備

1月：9、13、19、20、23

支援者延 15名

2月：6、9、10、17、24

支援者延 15名

3月：3、10、17、24、31

支援者延 16名

(2) 筑波大学大学院生命環境科学科植生調査及びインターンシップ実習の支援

2/11：湯ノ岳 (杉、桧植生調査)

1名 支援者 1名

2/23~26：湯ノ岳 (インターンシップ実習)

1名 支援者 2名

3/2~4：湯ノ岳 (杉、桧植生調査)

2名 支援者 1名

3/14：湯ノ岳 (杉、桧植生調査)

1名 支援者 1名

3/21~23：湯ノ岳 (インターンシップ実習)

1名 支援者 2名

(3) 土曜学習推進モデル事業の支援

(筑波大がいわき市から受託した同事業について、筑波大からの要請により支援をしたもの)

1/31：中央台南小

参加児童 72名

支援者 当会 12名

※筑波大からは3名

(4) H26年度東北地域における持続可能な地づくりを担う人材育成に係るESD環境育プログラムの作成等業務について

1/16：第二回策定委員会 (湯ノ岳山荘)

参加者 4名

1/31：報告書提出

2/6：運営調整会議 (仙台)

参加者 2名

2/15：発表会 (仙台)

参加者 3名

自然観察指導員研修会を開催

佐藤 烈

今回は、「学校教育としての自然観察を考える」というテーマで下記により研修会を実施しました。

実施日 平成 27 年 3 月 28 日 (土)
～29 日 (日)

場 所 28 日 明星大学学校林
29 日 湯ノ岳山荘
講 師 自然保護協会 時田 恵先生
受講者 28 日 20 名、29 日 15 名



自然保護協会 時田先生

第 1 日目は、13:00 に明星大学の駐車場に集合し、そこから眺めた学校林の様子を一人ひとり話させ、それを皆で聞くことから始まり、次に林のそばまで歩き、近くで見えるものを再度一人

ひとり話させ、皆で聞くことを繰り返しました。

自分が見ていたものと人が見えていたものが違うこと、またそれに自分は気が付かなかったことがわかるという仕掛けを用意したものでした。

林の中に入って、土壌の違いを見るときは色、手触り、更には足で蹴ってその柔らかさを感じるなど概念的でなく体で感じるとれる方法を教えてもらいました。



林内に入り観察の手法を学習しました

落ち葉や、その下にいる虫探しも虫をカップに一度集め、参加者に見せる工夫をしていました。

土の中の穴を見つけ小動物の巣穴かもしれない、穴がどうなっているのかなと参加者に関心を持たせるような話し方を教えてくれました。



足元の落ち葉から小動物までの興味ある観察体験

あるコナラの幹脇から細い枝がいくつも出ているのはなぜか一人ひとり答えさせるなど環境教育に必要なスキルを沢山教えてもらえました。



湯ノ岳山荘広場での観察手法を勉強

2 日目は 9:00～

山荘広場で前日同様見える遠景を一人ひとり話させたのち 1 m の糸の範囲を虫眼鏡で見るマイクロラインセンサスを実施マイクロとマクロの観察を体験しました。

また、広場のロゼットの観察、箸を使つてのギンギシの分布調査、またその葉の開き方のクイズ、ダンゴムシの観察など学校の子供を対象に関心を持つものを選び、その手法の工夫を教わりました。この学んだことは今後の小学校等の自然観察に活かして行きたいと思っております。

時田先生には大変お世話になりました。

ろうきん森の学校

若森秀樹

(平成 27 年 2 月 15 日～ 4 月 19 日)

1.平成 27 年 2 月 15 日 (日) (晴)

1. 実施内容 : ①自然観察会 ②森の手入れ作業体験③野外料理体験

2. 参加者 35 名。

3. 実施結果

①自然観察会

季節を楽しむ里山の散策と、森の手入れ体験を実施しました。(子供組 18 名)。

お子さんの参加で一举に賑やかな観察会となりました。

春まだ早く、冬芽やマツポックリ等の観察、ビオトープではヤマアカガエルの産卵はまだ観察できませんでした。



自然観察会参加者、ろうきん森の学校前で



バンガローの軒下にアリジゴク発見、地獄の主を捕まえようと頑張っています

③野外料理体験

三種の炊き込みごはん、石窯料理、その他盛りだくさんの料理でした。



石窯料理：豪華なトッピングのピザを頂きました

②森の手入れ作業体験

自然観察の終盤に観察コース周辺のネズミモチの除伐を体験しました。

(大人組 11 名+子供組)。



鋸の使い方や玉切にちいさな子も果敢にチャレンジ

2.平成 27 年 3 月 15 日 (日) (晴)

1. 実施内容 : ①自然観察会 ②シイタケ植菌作業 ③野外料理体験。

2. 参加者 38 名。

3. 実施結果

①自然観察会。観察テーマ。

・季節を楽しむ里山の散策

・樹木、草木の春を感じ命のつながりを楽しむ

今回のメンバーに小学生低学年 (2 名) から幼稚園年長 (2 名) 年少 (1 名) そして幼児 (2 名) を含めた 4 家族の参加があり賑やかな観察会となりました。

観察コースは標高 200m ですが樹木の芽はかたく春はまだ遠く感じました。

しかし、林床にはシュンランとキジムシロの花が観察出来て春を感じることが出来ました。



シュンラン

キジムシロ

②シイタケ植菌作業

キノコ班（荒川、松本）の指導でキノコ植菌作業を実施しました。作業は参加者に「ほだ木」にドリルで穴をあけシイタケのコマを打ち込みました。作業は、ほだ木 50 本に植菌、きのこハウスに仮伏せまで行いました。



シイタケの植菌作業

③野外料理体験

屋外で焼き料理を体験しました。食材はシイタケとネギ（やぐらネギ）でした。焼いたシイタケとネギは美味しく子供も大人も大人気でした。

3.平成 27 年 4 月 19 日（日）（曇）

1. 実施内容：①自然観察会 ②山野草勉強会
③野外料理体験。

2. 参加者 22 名。

3. 実施結果

①自然観察会。（山野草の観察を含めて）
観察テーマ。春を楽しむ里山の散策。樹木・草木の春の感じと命のつながりを楽しむ。参加者を 2 班に分けて観察会を実施しました。

1 班は、春の山菜を主に観察を実施しお昼の野外料理体験の食材（セイタカアワダチソウ、ヨモギ）を採取しました。

2 班は、春の花を主に観察しました。お昼の野外料理体験の食材（アケビの新芽）の採取をしました。

○春の山菜の観察



セリと毒セリの見分けかたを研修

山菜として山荘周辺で確認されている山菜の種類は 54 種あります。本日観察された種類は 38 種でした。参加者はその数の多さに驚いておりました。

○花を主としての観察



本日観察された種類。ヤマザクラ、ウグイスカグラ、ミツバアケビ、モミオジイチゴ、ニガイイチゴ、マミウシグサ、キジムシロ、ヤマブキ、セイヨウタンポポ、カントウタンポポ、シュンラン、ムラサキサギコケ、オオイヌノフグリ、タチツボスミレ、スミオレ、タネツケソウ、キツネノボタン、フデリンドウ。ツマキチョウオ、ミヤマセセリ、ルリシジミ、キチョウ。

○野外料理体験（料理担当の野口・猪村さん）



本日のメニュー*天ぷら：タラノメ、コシアブラ、コゴメ、セイダカアワダチソウ、ヨモギ、ウド、アケビノシンメ。ニンジン*酢の物：オオバギボウシ。*ウドの皮のきんぴら。*煮物：フキ・筍・蒟蒻。*ワラビ（前日あくぬき）*サラダ。*ウコギご飯。等々数多くの山の恵みを頂きました。

平成 27 年度自然観察会等の計画

自然観察班及び木工クラフト班より、今年度の一般募集行事が発表されましたのでお知らせ致します。

行事はマスコミ等でお知らせすることになります。また、会員の皆様のお知り合いで興味のある方はお誘い願います。尚、参加料金は自然観察会が保険料を含めて 300 円。クラフトは材料込みで 500 円です。

1.自然観察会

時期	月/日(曜)	テーマ	場 所	募集人数	責任者
春	05/10 (日)	市街地近くの初夏の里山を観察しよう	21 世紀の森 自然冒険ゾーン	30 名	鈴木 (信)
	06/07 (日)	いわきの海岸近くの常緑の森の観察をしよう	沼ノ内弁財天 周辺の保安林	30 名	古川
夏	07/25 (日)	夏の里山林の観察をしよう	石森山 環境保全林	30 名	古川
	08/09 (日)	夜の生き物の観察をしよう	県立 いわき公園	30 名	鈴木 (勤)
秋	10/25 (日)	秋の里山の観察をしよう	21 世紀の森 自然冒険ゾーン	30 名	佐藤 (行)
	11/29 (日)	初冬の里山を観察して落葉のカレンダーを作ろう	湯ノ岳山荘 周辺の森	30 名	猪村 アシスト佐藤
冬	02/14 (日)	いわきの海岸林の観察と冬芽の観察をしよう	県立 三崎公園	30 名	佐藤 (幸)

2.クラフト

時期	月/日(曜)	名称	製 作 作 品 名	募集人数	責任者
秋	11/14 (土)	竹細工教室	バランストンボ	15 名	佐藤 (行)
年末	12/26 (土)	木工教室	ミニ門松	20 名	桑原

林業活性化講演会

主催・磐城流域いわき地区林業活性化センター
・NPO 法人いわきの森に親しむ会

1.日時 平成 27 年 3 月 10 日 14:00~15:30

2.場所 いわきワシントンホテル

3.演題 **林業を軸として中山間で生きるために**

山梨県道志村における取り組み

講演者 **大野航輔** 道志村地域おこし協力隊・
NPO 法人道志・森づくりネットワーク



4.講演要旨

総務省の事業である「地域おこし協力隊」に応募し、山梨県道志村に 2 年間住んで活動している現在進行形の課題等について講演されました。

講演で、道志村の課題は人口の高齢化率が 35%と高い人口問題があります。

そして、村の面積の 94%を占める森林ですが間伐等が出来ず荒れています。

これらを解決、林業が魅力的になり住んで生活ができる村を目指すのが目標として活動しております。

課題の解決の一つには、薪ボイラーシステムによる間伐材の活用とその問題について話されました。問題は薪の乾燥期間の短縮・大径木の運搬労力低減・バーグの活用等があります。

現在間伐材搬出システムの開発・民有林の間伐施業につなげるため、林業経営計画の策定し山主に提案を計画中、現在山林境界調査中で道志村地域おこし協力隊林業女子の力を再確認したそうです。今後林業に女性の力が必要となであろうと話されました。そして、村に住んでもらう活動も展開中とのことでした。(伊藤)

松本學さんカメラで最優秀賞受賞

キャノン(株)による社会貢献の一環として「みんなのカメラ教室」へのカメラ教室が開催されました。

日時 平成27年3月25日(水)

13:00~15:30

会場 みんなのカメラ教室、いわき公園

○本会より、松本 學さんが参加されました。

いわき公園での撮影会で、松本さんの作品が画面構成・カメラアングル・光の使い方が優れており最優秀賞を獲得されました。下の写真がその作品です。



いわき公園

松本さん、これからも感動ある作品を発表されますようご祈念申し上げます。



松本學さんは現在湯ノ岳山荘の管理者の一人です。

お知らせ

第十一回通常総会の案内

一. 開催日時

平成二十七年六月二日(日)

午後二時~

二. 会場

湯ノ岳山荘 研修室

右記の通り総会が開催されますので多くの方々のご出席をお待ちしております

編集後記

○4月8日に雪が降りました。桜の花に雪が積もり冷たく寒い花見でした。

今年の春は異常気象なのかと思ってしまいましたが、春は天候が不順なのが当たり前で昔から「春に3日の晴無し」や「風の3月・雨の4月」そして「季節の逆戻り」など春の天候を表したものであり、天候の悪いには当たり前。でも気になります。

○今回の会報はヤマザクラの咲く時期の発行で、会報名に取り入れた山桜は山荘近辺での開花はトップクラスです。

その山桜は、県道の日当たりが良い法面にあり、今年も早い開花でした。

この山桜の新葉は開花時にはかなり展開しており、葉の色は赤が目立つ茶色で花弁は白いのですが、葉や花柄・萼片の色も赤が目立つ茶色で花全体が赤茶色に見えます。

私は、会報名に取り入れる山桜の花をもう少し良い花に変えようと思ひ山荘周辺の花を見て回りましたが、山桜らしい山桜はほかに見当たりませんでした。しばらくこのままとしますので宜しくお願い致します。

(発行) NPO 法人いわきの森に親しむ会
(発行責任者) 松崎和敬 (編集担当者) 伊藤貞夫
(事務局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳2
湯ノ岳山荘内

TEL/FAX 0246-44-3273

E-mail:yunodake@gray.plala.or.jp

HP:http://iwaki-mori.Jimdo.com/